

4月8日 校長講話

みなさん、おはようございます。今日から学校は、令和2年度のスタートです。進級おめでとうございます。2年生だった皆さんは3年生になり最上級生になりました。1年生だった皆さんは2年生になり、中堅学年として初めて後輩もできます。それぞれの学年でしっかり頑張りましょう。

私は、4月1日からこの朝霞第二中学校の校長となりました ふたみ たかひさ 二見 隆久と
います。3月の終わりまでは、朝霞市役所のおじさんでした。朝霞市の教育
委員会というところにおいて、久しぶりに学校に戻ってくることができ、みなさん
と会えるのを楽しみにしていました。みなさん一人一人を大切に「生徒
中心の学校づくり」に取り組みたいと思っていますので、どうぞよろしくお願
いいたします。

と自己紹介をしたところで、みなさんに残念なお話をしなければなりません。
すでにニュースでも知っているかもしれませんが、きのう政府が新型コロナウイルス
の感染症拡大防止のための緊急事態宣言を出しました。

その宣言を受けて埼玉県でも朝霞市でも学校の休校を延長して5月6日まで
学校は再びお休みになることになりました。せっかく今日が新たなスタートだ
と思っていたのがっかりしたと思います。

そこでみなさんに大切なお話をします。今日のテーマは「主体的に生きよう」
ということです。新型コロナウイルスの影響で、日本中の学校が3月に突然お
休みになりました。卒業や学年が上がる最後の思い出作りのための1か月が突
然奪われてしまいました。さきほど私は教育委員会にいたと言いましたが、政
府の要請を受けて、朝霞市の小中学校の休校を決めたのは私です。クラスの友
達、先輩とちゃんとお別れもできず、急に友達とも会えなくなり、学校で勉強
や部活をするはずだった多くの時間をみなさんから奪ってしまいました。そし
てまた今日休校の延長をお知らせすることになってしまいました。それを決め
た立場の一人として、というより大人を代表してみなさんに謝ります。本当に
ごめんなさい。

今、世界は大変困難な状況にあります。みなさんも毎日さまざまな情報を得
ていると思いますが、私たちは目に見えない「新型コロナウイルス」との戦い

のさなかにおいて、世界中で多くの人が命の危険にさらされています。

当たり前が続くと思っていた日常が突然変わってしまい、明日をも見通せない状況になってしまいました。そして世の中には嫌な空気があふれています。マスクやトイレットペーパーを買い占めたり、人を批判や非難する言葉が飛び交ったり、デマや不正確な情報に大人でさえ振り回され右往左往しています。でもこれは決してウィルスのせいだけではありません。今まで見えづらかった人間の弱さがはっきりと表れてきたのだと思います。「自分が自分が」と不安になる気持ちはだれもが持っているものです。でも人を攻撃してもこの状況を乗り越えることはできません。みんなが相手のことを思い協力しなければ、コロナウィルスに打ち勝つことはできません。

そこでお願いです。今日会ったばかりの私がいきなりお願いをするのは変に思うかもしれませんが。でもよく聞いてほしい。私からのお願いは、みなさん一人一人に自分で考えて「主体的に生きてほしい」ということです。わかりやすく言います。まずは、「受け止める」。つい数か月前にあった楽しい学校生活や何気ない日々が大きく変わってしまったことを受け止めて、しっかり胸に刻んでほしいのです。友達と会えなかった悲しみ、家から出られなくて退屈した日々、ドタバタする大人を見て変だなあと感じた気持ち、それをしっかりと受け止めてほしい。次に「考える」。本当に大切なことは何か、今何をすればいいのか、何を我慢しなければならないか、苦しんでいたり、困っている人に何ができるか、デマやうわさに振り回されるのではなく、自分の頭でぜひ主体的に考えてください。学校が始まってもしばらくは、以前のような状況にはならないと思います。先生たちも全力で君たちを守るように頑張りますが、少しでも安全で安心な学校生活を送るためには、みなさん自身が自分の頭で考えて行動してもらうことが必要です。それを難しく言うと「主体的に生きる」というのです。

4月の初めから重たい話をしてごめんなさい。先生方はみなさんを大切にしたいので再び安心して通える学校を作るために一生懸命頑張りますから、みなさんも困難な状況に負けないで、自分の頭で考えて「主体的に」生きてください。

私の話はこれで終わりです。聞いてくれてありがとうございました。